

# 八 幡 の 風

## 地域とつながる

### ○安濃町敬老会

9月18日、安濃町敬老会がハーモニーホールで行われ、そこに東観中学校の生徒16名がスタッフとして参加しました。これは主催者側から中学校に依頼があり、校内での募集によって希望する生徒の参加が実現したものです。生徒たちの役割は案内係。来場者の方々をホール内の座席までエスコートする仕事です。生徒の中には来場者の荷物を持ったり、脚の不自由な方の歩行に合わせて安全を確認しながら案内したりする姿もみられました。



### ○草生ふれあい秋まつり

10月1日に行われた、草生ふれあい秋まつりにもスタッフの依頼があり、募集によって11名の生徒が参加しました。こちらの仕事は、射的やわたがし、ポップコーンなどの係のお手伝いです。小さい子どもた



ちに丁寧に接しながら、射的の仕方やわたがしの作り方を教える姿が見られました。

またこのイベントでは、東観中学校の美術部に射的、わたがし、ポップコーンそれぞれの看板づくりの依頼、吹奏楽部に演奏の依頼をいただくなど、

中学生の活躍の場をたくさん提供していただきました。

このように、現在、東観中学校では、地域の中で中学生が活躍する場を増やしていこうと考えています。これは、学校運営協議会において、どうやって学校と地域がつながっていくかを議論する中で生まれた考え方です。

中学校の場合、生徒たちが地域に貢献できる場や、地域で活躍できる場を提供していただくことが、地域との最良のつながり方だと考えました。

紹介した事例以外にも、イベントのポスター制作依頼や、小学校の行事へのスタッフ依頼などもいただいています。

今後も試行錯誤しながら、こうした取組を根付かせていきたいと考えています。



## 「第2回 学校運営協議会」報告

10月5日（木）、第2回の学校運営協議会が開催されました  
その概要を以下のとおり報告させていただきます。

協議事項より（抜粋）

### ○地域とのつながりについて

現在、中学校では地域とつながることを目的として、「地域から生徒の活躍の場を提供していただく」取組に挑戦しており、9月の「安濃町敬老会」や10月の「草生ふれあい秋まつり」での生徒の活躍の様子などが報告されました。

協議の中では、

- ・この取組を地域の方々に広く知っていただきたい。
- ・イベント当日だけでなく準備段階での応援スタッフなども試みてはどうか。
- ・どんな内容の依頼を受けるのか、一定の線引きが必要ではないか。
- ・教員の負担増にならないようにする工夫が必要ではないか。

などの意見が出されました。この取組はまだ始まったばかりであることから、今後は学校運営協議会でも課題を検討しながら、持続可能で地域に根付く取組になるよう進めていくことが確認されました。

### ○部活動のあり方について

近年、中学校の部活動のあり方が大きく変わろうとしており、東観中学校でも部活動の精選や地域移行など検討が迫られています。そういった現状を踏まえ、学校運営協議会の委員の方々からご意見をいただきました。最も多様な意見が出されたのは部活動の朝練についてでした。現在、市内の中学校でも原則として朝練を無くしている学校が増えています。そのことについて出された意見を一部紹介します。

- ・子どもを主体とするか、教員を主体とするかによって結論が異なる。
- ・朝練はいる。生徒の体力向上には欠かせないし、いい思い出になる。
- ・夕練だと顧問は会議等で出られないことも多い。朝練は生徒とつながる貴重な時間である。
- ・子どもにとって早起きはつらいが、それがきっかけで顧問との絆ができた。
- ・朝練は時間も短く効率が悪い。夕練に力をいれたほうがよい。
- ・高校では朝練をやっていないところも多いが、部活動は充実している。
- ・全国的に不登校、いじめ等の人数が増加している。そうしたことへの対応を優先すべきではないか。
- ・学校によって、あるいは部活によって朝練の有無が異なるのはよくない。せめて市内で統一すべき。

など、それぞれの立場から多様な意見が出されました。

ここで結論を出すということではなく、今後は職員会議とも併せて、引き続き学校運営協議会でも議論することとしました。